

令和 6 年度
学校生活保護者アンケート結果

保護者の皆様には、年末のお忙しい折に学校生活アンケートへのご協力をいただき、有り難うございました。

本校では、「夢・志をもち、社会を『生き抜く力』を育む～自立・自律・自学～」という教育目標を掲げています。

その重点目標を、

○確かな学力をつける。

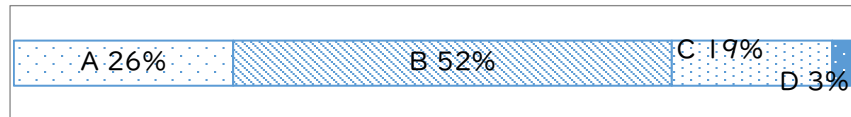
○豊かな心を育てる。

○心身共に健康健全な生活を目指す。

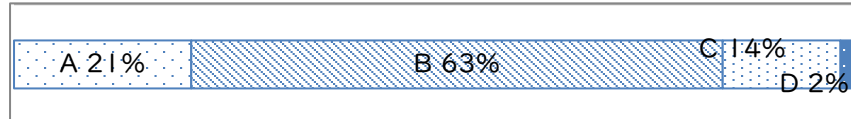
と設定し、日々教育活動に取り組んでいるところです。これらのことを検証するためにアンケートを実施させていただきました。結果は以下の通りです。

A あてはまる B どちらかといえばあてはまる
C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない

① 子どもは、読み書き計算などの基礎基本の力が身についている。



② 子どもは、学習内容を理解している。



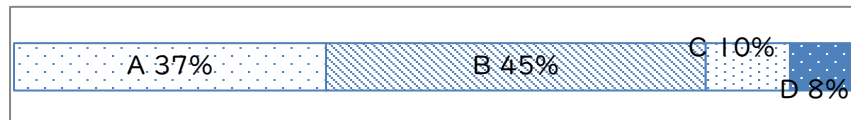
③ 子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。



④ 子どもは、家で読書をしている。



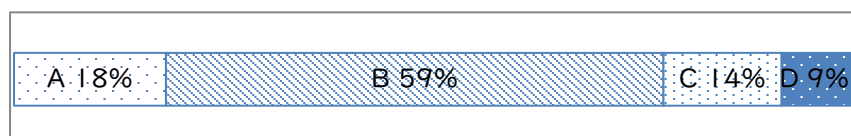
⑤ 子どもは、進んで挨拶をしている。



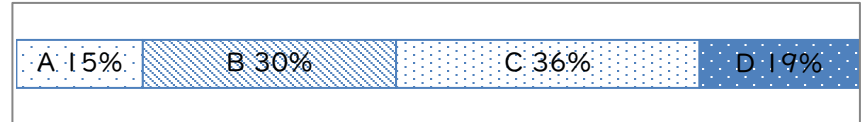
⑥ 学校は、いじめや問題行動に対して適切な対応をしている。



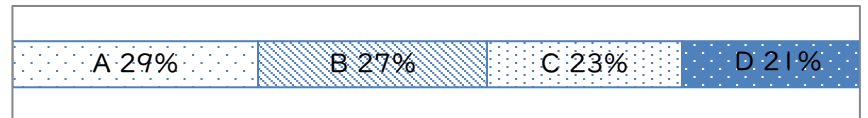
⑦ 子どもは、けじめのある生活をしている。



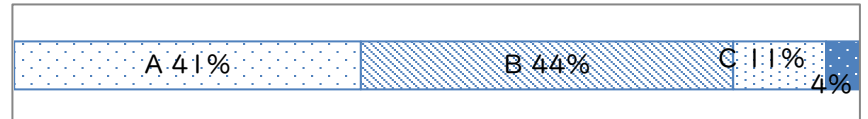
⑧ 子どもは、家庭で決められている約束（平日のスマホやゲーム等の使用時間）を守っている。



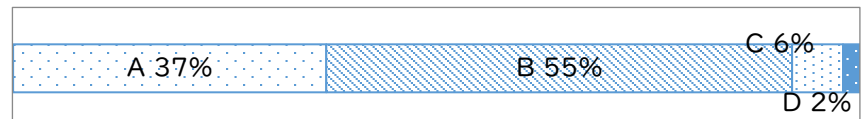
⑨ 子どもは、家で進んで運動をしている。



⑩ 学校は、学校通信、ブログ等を通じて教育活動をわかりやすく伝えている。



⑪ 学校は、校舎内外の安全管理に努めている。



ご協力頂いたアンケートをもとに考察したことを抜粋してお知らせします。

【考 察】

○ ①番と②番の「学習の理解度」に関する項目では、約80%の保護者の方から肯定的なご意見をいただいておりますが、約20%、つまり5人に1人は、お子様の学習理解度に関して不安を感じていらっしゃるのことがわかります。学習内容の習熟度を高めるには、教員の指導力の向上はもとより、家庭学習も重要な要素の一つと考えています。③番の「家庭学習」の項目では、半数が進んで家庭学習に取り組むことができていない状況です。AIドリル「すらら」も活用していただきながら、自ら課題を見つけ、進んで学習ができるように、ご家庭でもご協力いただきますようよろしくお願いいたします。研究授業を重ね、「わかる授業」を実践していけるよう、引き続き教員の授業力の向上にも努めてまいります。

○ ④番の「読書」の項目では、「子どもは、家で読書をしている。」と回答いただいた割合が昨年度の58%から42%と大きく低下しています。学校では毎週月曜日の朝の15分間に読書をする「ときめきタイム」を設けています。また、図書館司書（ブックソムリエ）との連携のもと、子どもたちの読書意欲を高めるための取組を行ってきました。読書は読解力の向上に大変有効的なものです。ご家庭におかれましても、引き続き子どもたちの読書習慣の定着に向け、家読（うちどく）を進めていただきますようお願いいたします。

○ ⑧番の「メディアの利用時間」に関する項目では、「家庭で決められている約束（平日のスマホやゲームの使用時間）を守っている」と回答いただいた割合が45%と低い数値となっています。メディアの過剰利用による生活リズムの乱れ、視力低下、学力の低下、依存症など体や心への影響も心配されます。子どもたちはまだまだ自身をコントロールする術を身につけておらず、未熟な部分があります。ご家庭での約束事を決めていただき、その約束が守れているかどうかの点検を是非お願いします。

以上のことを踏まえ、次年度の教育活動をより一層充実させていきたいと考えています。今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。